

貸借対照表

(2021年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,142,552	流動負債	655,560
現金預金	1,102,462	買掛金	115,289
売掛金	502,608	未払金	256,307
製品	202,379	未払法人税等	168,805
仕掛品	106,458	未払消費税	47,255
原材料・貯蔵品	184,573	未払費用	22,253
前払費用	33,672	預り金	16,478
短期債権	6,873	賞与引当金	29,171
未収入金	3,523		
その他の流動資産	0	固定負債	2,191,423
		長期借入金	2,000,000
固定資産	9,417,765	繰延税金負債	191,423
有形固定資産	8,120,989		
建物	674,197	負債合計	2,846,983
建物附属設備	163,445	(純資産の部)	
構築物	4,010,854	株主資本	8,244,756
坑井設備	0	資本金	300,000
機械及装置	2,212,533	資本剰余金	393,325
車両運搬具	0	資本準備金	393,325
工具器具備品	83,175	利益剰余金	7,551,431
土地	778,811	利益準備金	75,000
建設仮勘定	197,971	その他利益剰余金	7,476,431
無形固定資産	27,939	別途積立金	5,700,000
鉱業権	10,959	繰越利益剰余金	1,776,431
ソフトウェア	12,398		
施設利用権	1,137	自己株式	0
借地権	2,700		
商標権	243		
投資その他の資産	1,268,836	評価・換算差額等	468,576
投資有価証券	1,090,668	その他有価証券評価差額金	468,576
長期貸付金	189		
長期前払費用	9,169		
その他の投資	170,408	純資産合計	8,713,333
貸倒引当金	△ 1,600	負債・純資産合計	11,560,317
資産合計	11,560,317		

※当期純利益(単位：千円)

610,290

〔個別注記表〕

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券 …………… 償却原価法

その他有価証券

時価のあるもの …………… 決算日の市場価格等に基づく時価法を適用しています。
評価差額は全部資産直入法により処理し、売却原価は
移動平均法により算定しています。

時価のないもの …………… 移動平均法による原価法を適用しています。

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

評価基準は原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を適用しています。

製品 仕掛品 …………… 総平均法を適用しています。

原材料 貯蔵品 …………… 移動平均法を適用しています。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 定額法

無形固定資産 …………… 鉱業権については生産高比例法を適用しています。

その他は定額法を適用しています。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を適用しています。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …………… 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により算定し、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

退職給付引当金 …………… 従業員の退職給付に備えるため、期末退職金要支給額から年金資産期末残高を控除した額を計上しています。

賞与引当金 …………… 従業員の賞与の支給に備えるため、支給実績を基準にして算出した支給見込額を計上しています。

(5) 消費税等の会計処理

…………… 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

(重要な後発事象)

(共通支配下の取引等)

当社は、2021年9月7日開催の当社取締役会において、当社及び当社の親会社であるK&Oエナジーグループ株式会社（以下「K&Oエナジーグループ」といいます。）の完全子会社かつ連結子会社である関東天然瓦斯開発株式会社（以下「関東天然瓦斯」といいます。）の天然ガスの開発・採取・販売に関わる事業（以下本項目において「ガス事業」といいます。）及びヨウ素及びヨウ素化合物の製造・販売に関わる事業（以下本項目において「ヨウ素事業」といいます。）の再編（以下「本事業再編」といいます。）を実施することを決議し、2022年1月1日付で本事業再編を実施しております。

1. 本事業再編の目的

当社と関東天然瓦斯は、それぞれがヨウ素事業及びガス事業を行っておりますが、両社間で複雑な取引や重複業務が発生しておりました。そこで、当社にヨウ素事業を、関東天然瓦斯開発にガス事業を統合・整理することで、両社間の複雑な取引の簡素化、重複業務の削減を図るとともに、事業ごとに経営資源の集中を図り、各事業の更なる成長を目指すために、本事業再編を実施しました。

2. 本事業再編の概要

①企業結合の法的形式

ヨウ素事業 関東天然瓦斯を分割会社、当社を承継会社とする吸収分割
ガス事業 当社を分割会社、関東天然瓦斯を承継会社とする吸収分割

②対象となった事業の内容、規模

(1)承継する事業の経営成績

		2021年12月期
ヨウ素事業	売上高	3,436百万円
ガス事業	売上高	913百万円

(2)承継する資産負債の項目及び金額(2021年12月31日時点)

ヨウ素事業

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	698百万円	流動負債	176百万円
固定資産	354百万円	固定負債	7百万円
合計	1,053百万円	合計	183百万円

ガス事業

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	159百万円	流動負債	140百万円
固定資産	1,981百万円	固定負債	387百万円
合計	2,141百万円	合計	527百万円

③企業結合日

2022年1月1日（本事業再編の効力発生日）

④本事業再編に係る当事会社の概要

名称：関東天然瓦斯開発株式会社

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
資産	33,700百万円	34,681百万円	34,769百万円
負債	4,936百万円	5,114百万円	4,923百万円
純資産	28,763百万円	29,566百万円	29,846百万円
従業員数	176人	173人	174人

名称：日本天然ガス株式会社(現：K&Oヨウ素株式会社)

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
資産	12,738百万円	11,809百万円	11,560百万円
負債	4,979百万円	3,666百万円	2,846百万円
純資産	7,758百万円	8,143百万円	8,713百万円
従業員数	79人	79人	80人

⑤本事業再編に係る割当ての内容

当社は、ヨウ素事業の吸収分割により承継する権利義務の対価として、関東天然瓦斯に対して新たに当社の普通株式1,139株を発行し割当て交付しております。関東天然瓦斯は、本吸収分割（ヨウ素事業）の効力発生日に、当社の普通株式1,139株を当社に剰余金の配当として交付しております。

関東天然瓦斯はガス事業の吸収分割により承継する権利義務の対価として、当社に対して新たに関東天然瓦斯の普通株式12,008,126株を発行し割当て交付しております。当社は、本吸収分割（ガス事業）の効力発生日に、関東天然瓦斯の普通株式9,606,012株をK&Oエナジーグループに、関東天然瓦斯の普通株式2,402,114株を豊田通商株式会社（以下「豊田通商」といいます。）に、剰余金の配当として交付しております。

なお、豊田通商は、当該交付を受けた関東天然瓦斯株式の全てを、同日付でK&Oエナジーグループに対して譲渡しております。

また、本吸収分割の効力発生日時点での当社の株主構成は、K&Oエナジーグループ80.00%、豊田通商20.00%となります。

3. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準および事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等の内、非支配株主との取引として処理しております。